

事業番号0178											
平成２９年度行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名	被爆二世健康診断調査委託費				担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	昭和５４年度	事業終了 （予定）年度	終了予定なし		担当課室	総務課指導調査室			総務課指導調査室 小野 清喜		
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	－				関係する計画、 通知等	「被爆二世健康診断調査事業の実施について」					
主要政策・施策	－				主要経費	社会保障					
事業の目的 （目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内）	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し健康管理に資することを目的とする。										
事業概要 （5行程度以内。 別添可）	被爆二世健康診断調査委託費 委託先：都道府県、広島市及び長崎市（健康診断は医療機関等へ委託し実施） 対象者：被爆二世であって健康診断を希望される方										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	181	178	216	219	220				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－				
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計		181	178	216	219	220				
	執行額		180	177	214						
	執行率（％）		99%	99%	99%						
	当初予算＋補正予算に対す る執行額の割合（％）		99%	99%	99%						
平成29・30年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	原爆症調査研究等委託費		219	220	対象者の増						
	計		219	220							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 毎年度
	被爆二世の健康管理に資 するため、前年度以上の受 診率達成を目標とする。		前年度受診者数に対する 当該年度受診者数		成果実績	人	17,949	17,576	17,873	－	－
					目標値	人	17,660	17,949	17,576	－	前年度実績
					達成度	％	102	98	102	－	－
根拠として用いた 統計・データ名 （出典）	被爆二世健康診断調査事業実績報告書										
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	被爆者二世健康診断受診者数			活動実績	人	17,949	17,576	17,873	－		
				当初見込み	人	19,877	18,286	19,345	19,524		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト＝10,704円/件 上限単価：10,704円 （各検査項目の診療報酬点数を積み上げて算出。平成 28年度から上限単価が上昇した理由は検査項目を追 加したため。）			単位当たり コスト	円	8,840	8,870	10,704	10,704		
				計算式	/	上限単価	上限単価	上限単価	上限単価		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること													
		施策	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること													
		測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度					
			-		実績値	-	-	-	-	-	-					
					目標値	-	-	-	-	-	-	-				
			定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)								
			-	-		-	-									
							施策の進捗状況(実績)									
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係														
		被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状に鑑み、希望者に対し健康診断を実施することにより、被爆二世の健康不安を解消し、その健康の保持及び増進を図る。														
経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-		-											
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度					
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-					
					目標値	-	-	-	-	-	-	-				
					達成度	%	-	-	-	-	-	-	-			
		(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度					
			-		成果実績	-	-	-	-	-	-	-				
					目標値	-	-	-	-	-	-	-	-			
					達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-		
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係														
-																

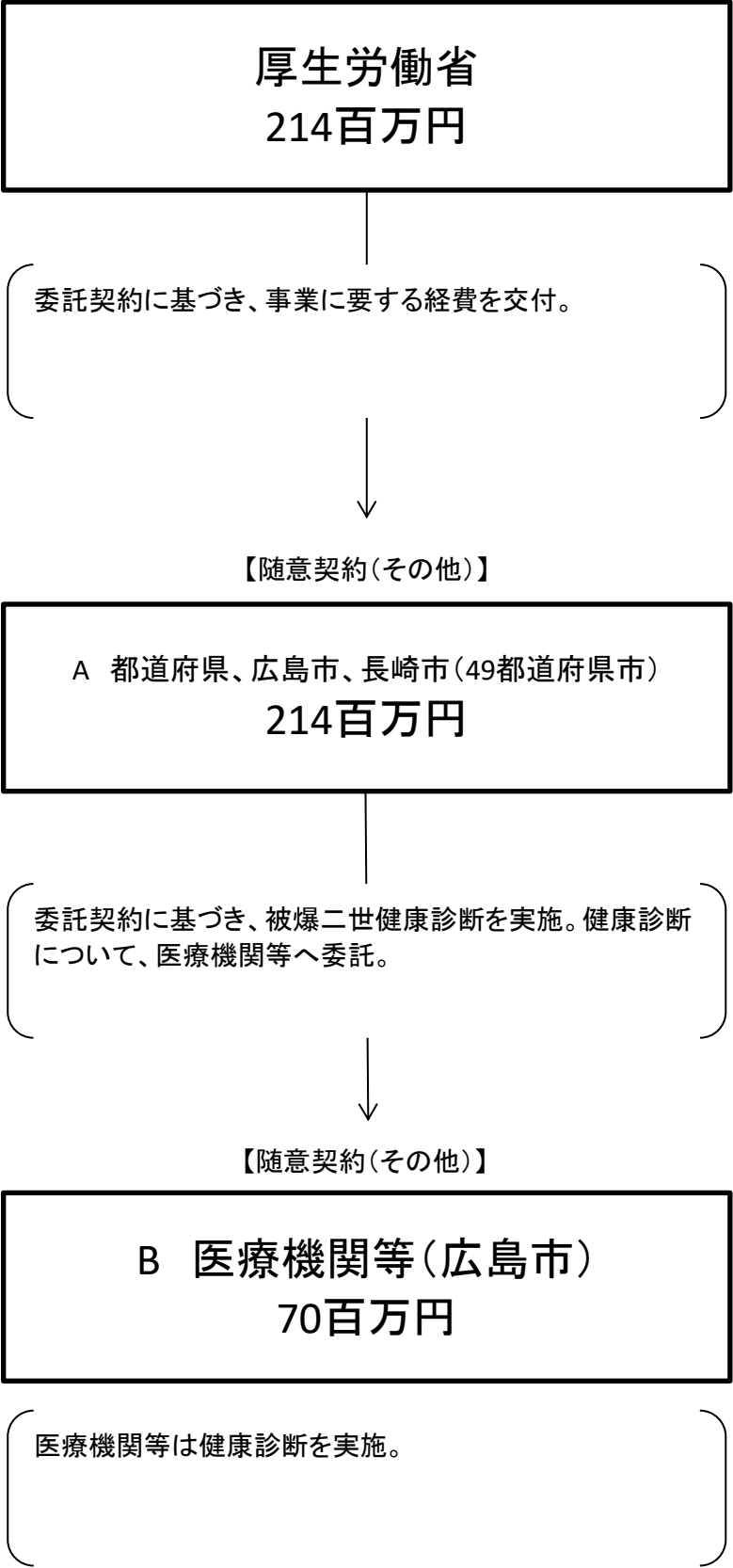
事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状をかんがみると、事業目的や重要性の観点から国費を投入して実施すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	目的(被爆二世の中には、健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い現状にかんがみ、希望者に対し健康診断を実施し、被爆二世の健康状況の実態を把握するとともに健康管理に資すること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	被爆二世に対し健康診断を実施することにより、健康管理に資するものであり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	健康面での不安を訴え、健康診断を希望する者が多い原爆被爆者二世に対し実施される健康診断調査事業については、事業の利用申し込み者が二世であることの確認等を行うため、知事等以外に事業を実施することは不可能であることから、会計法(昭和22年法律第35号)第29条の3第4項の規定に基づき、知事等と随意契約により契約を締結している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	診療報酬に基づき、適切に設定されている。平成28年度から上限単価が上昇した理由は検査項目を追加したため。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	被爆二世健診事業を実施する上で必要な経費に限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	近年の実績は目標に対し9割以上の成果を達成している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	近年の実績は見込に対し約9割の活動実績が出ている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-
	所管府省名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	引き続き、適切な受診者数を見込むことが必要。		
	改善の方向性	適切に予算を執行し、毎年概ね事業の目標が達成できている。受診者数は当初見込み人数の約9割の範囲で推移してきており、引き続き受診者数の増減の傾向を見ながら希望者について、全員が受診可能となるよう適正な規模の予算の確保に努め、事業を継続する。		

外部有識者の所見	
点検対象外	
行政事業レビュー推進チームの所見	
現状通り	被爆二世の健康状態を把握するとともに健康管理に資する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	
現状通り	—
備考	
—	

関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	180	平成23年度	157	平成24年度	129	
平成25年度	154	平成26年度	166	平成27年度	175	
平成28年度	175					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.広島市			B.病院A		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	医療機関等への健診委託費	70	健診費	健康診断に要する経費	24
	役務費	受診票等発送	2			
	需用費	受診票、文具等	1			
	賃金	臨時職員に要する経費	1			
	計		74	計		24

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	広島市	9000020341002	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	74	随意契約（その他）	-	100%	-
2	長崎市	6000020422011	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	38	随意契約（その他）	-	100%	-
3	広島県	7000020340006	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	25	随意契約（その他）	-	100%	-
4	大阪府	4000020270008	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	9	随意契約（その他）	-	100%	-
5	山口県	2000020350001	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	8	随意契約（その他）	-	100%	-
6	長崎県	4000020420000	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	8	随意契約（その他）	-	100%	-
7	神奈川県	1000020140007	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	6	随意契約（その他）	-	100%	-
8	兵庫県	8000020280003	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	5	随意契約（その他）	-	100%	-
9	福岡県	6000020400009	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	5	随意契約（その他）	-	100%	-
10	千葉県	4000020120006	委託契約に基づき、被爆二世健康診断を実施又は医療機関へ委託	4	随意契約（その他）	-	100%	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	病院A	-	被爆二世検診の実施	24	随意契約 (その他)	-	100%	-
2	病院B	-	被爆二世検診の実施	7	随意契約 (その他)	-	100%	-
3	病院C	-	被爆二世検診の実施	4	随意契約 (その他)	-	100%	-
4	病院D	-	被爆二世検診の実施	4	随意契約 (その他)	-	100%	-
5	病院E	-	被爆二世検診の実施	4	随意契約 (その他)	-	100%	-
6	病院F	-	被爆二世検診の実施	2	随意契約 (その他)	-	100%	-
7	病院G	-	被爆二世検診の実施	2	随意契約 (その他)	-	100%	-
8	病院H	-	被爆二世検診の実施	2	随意契約 (その他)	-	100%	-
9	病院I	-	被爆二世検診の実施	1	随意契約 (その他)	-	100%	-
10	病院J	-	被爆二世検診の実施	1	随意契約 (その他)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-